



# 施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

## 1 施策の基本情報

施策名	26 快適な公共交通環境の整備	
目的	対象	市民、市内公共交通機関の利用者
	意図	安全、快適、円滑に目的地まで移動できる
施策の方向	将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに、交通安全対策の推進、環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて、誰もが安心して移動できる快適な交通環境が整備されたまちづくりを進めます。	

## 2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

### 施策の目的、方向に対する考察

総合交通計画の進行管理を行うとともに、ミニバスなどの地域に必要な公共交通の維持や再編に向けて、地元住民、交通事業者等と協議を進め、バス業界の慢性的な運転士不足、運転士の労働時間などの規制が強化される「2024年問題」を課題認識し、今後の方向を示す地域公共交通計画の検討を行った。  
 令和5年4月の改正道路交通法施行により、すべての自転車利用者に対し、自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されたことを受け、自転車用ヘルメット購入補助事業を開始した。  
 増加する自転車が絡む事故への対応や、新たなモビリティの安全な利用の周知など、様々な機会を捉えた継続的な啓発が必要である。  
 自転車等対策実施計画、自転車ネットワーク計画、シェアサイクルなど、自転車関連の事業・取組を総合的に推進するため、自転車活用推進計画の検討が必要である。

## 2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合	%	78.5 令和4年度	78.5	80.0 令和8年度	⇒	・公共交通活性化協議会や通常業務における公共交通機関との連携により一定水準のサービスを維持できている。 ・上述に加え、地域公共交通計画を策定し、市民・事業者・市の協働で改善に取り組む。
市内における交通人身事故件数（暦年）	件	479 令和4年	514	370 令和8年	▼	・感染症流行による移動需要の低減に伴い、令和2年までは、事故件数の減少が見られた。 ・令和3年以降は、人々の移動需要が回復し、同時に、事故件数も上昇している。 ・一方、令和2年以降、事故による死者数は減少しており、令和4年は0人であったことを踏まえ、引き続き、交通安全の啓発事業を継続していく。
自転車乗入台数	台	1万657 令和3年度	1万1,459	1万2,000 令和8年度	○	・自転車ネットワーク計画第1期優先整備路線のうち2路線の整備を実施した。 ・施設の適正管理のため、国領駅周辺で耐用年数の経過した機械施設の更新を行った。 ・経年の使用により劣化が進行していた自転車等搬送設備の更新を行った。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

## 3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

### ■26-1 公共交通ネットワークの形成

No	基本計画事業名	R5 取組実績	R5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
87	交通計画等の検討	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・総合交通計画の進行管理 ・地域公共交通計画の策定検討（基礎調査、課題整理） ・ミニバス運行維持のための事業者協議・調整 ・公共交通活性化協議会の開催（全5回） ・バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の進行管理 ・バリアフリー特定事業計画進行管理用の冊子作成	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・総合交通計画の進行管理 ・地域公共交通計画の策定 ・ミニバス運行維持のための事業者協議・調整 ・公共交通活性化協議会の開催（全5回を予定） ・バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の進行管理 ・バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の取組状況調査及び内容評価

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①北部地域デマンド型公共交通実証実験の実施（令和5年12月から令和6年3月）	①北部地域デマンド型公共交通実証実験の継続実施（令和6年12月まで）及びその後の取組検討 ②交通情報の発信に向けたデジタルサイネージ等の設置検討（調布駅前広場） ③バリアフリー基本構想に基づく鉄道駅ホームドア等の設置促進 ④バス待ち環境の改善に向けた調査検討

■26-2 交通安全対策の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①全国交通安全運動・交通安全市民のつどい、自転車安全利用キャンペーン等の啓発活動の実施・活動支援 ②自転車安全教室、高齢者交通安全指導員講習会、自転車安全利用講習会等の実施 ③高齢者等運転免許自主返納サポート事業、TSマーク補助事業及び自転車用ヘルメット購入補助事業の実施 ④子ども交通安全教室の運営及び新一年生への交通安全啓発用品の支給 ⑤道路照明、カーブミラーの設置や維持管理など、交通安全施設を整備した。	①全国交通安全運動・交通安全市民のつどい、自転車安全利用キャンペーン等の啓発活動の実施・活動支援 ②自転車安全教室、高齢者交通安全指導員講習会、自転車安全利用講習会等の実施 ③高齢者等運転免許自主返納サポート事業、TSマーク補助事業及び自転車用ヘルメット購入補助事業の実施 ④子ども交通安全教室の運営及び新一年生への交通安全啓発用品の支給 ⑤調布駅前広場における交通ルール（自転車押し歩き）の周知・啓発及び今後の交通ルールの検討 ⑥「調布市道路付属物維持管理方針（令和6年3月策定）」に沿った交通安全施設の維持・管理・更新

■26-3 自転車利用の促進

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
88	自転車等利用環境の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・自転車等対策実施計画(改定版)に基づく取組 ・自転車駐車場機械施設の計画的な更新を実施 ・調布市自転車ネットワーク計画第1期優先整備路線2路線を整備 ・シェアサイクルステーションの設置拡充	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・自転車等対策実施計画(改定版)に基づく取組 ・自転車駐車場機械施設の計画的な更新 ・自転車通行空間整備の促進 ・自転車活用推進計画の策定 ・シェアサイクル事業の促進

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①駅前放置自転車抑制の取組	①駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度の実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・北部地域デマンド型公共交通実証実験の実施	・公共交通活性化協議会の運営 ・地域公共交通計画の策定検討
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・シェアサイクル事業の促進	